

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134005	事務事業名	図書館管理運営事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	地域の読書活動・生涯学習活動を推進・支援することで、利用者の満足度が向上し、利用者増加が図られる。
事業の内容 (手段)	市内5館の円滑な運営 お話し会など各種行事の運営 関係部局とのコラボ企画の実施		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	205,000	215,000
館外貸出利用者延べ数(個人)	個人の館外貸出利用者延べ数(移動図書館除く)	人	実績値	189,142	201,182		
			達成度(%)	92.3%	93.6%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	64,687	63,611	67,367	86,953
うち一財		千円	64,367	63,202	67,041	84,483	151,862
(決算額)	直接事業費	千円	61,478	62,148		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	61,243	61,859		平成30年2月から徳山駅前図書館供用開始予定に係る指定管理料(2か月分)による	徳山駅前図書館指定管理料(1年分)による
	正職員人件費	千円	56,942	59,981			
	人工数	人	7.70	8.10	7.05		
	支出コスト	千円	決) 118,420	決) 122,129			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	自家用車利用の増加による駐車場不足システム(インターネット)の利用により、利用者の利便性は格段に向上し、インターネット利用による予約が増えてきているなか、その対応は人的作業となるため、事務量が増加している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 事務量が増大し、人材が手薄であり、特に司書資格を有する職員が少ないため、的確な人的サービスの提供、またそれに対応できる人材の育成・職員配置が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	学校図書館との連携を密にし、小中学生の間に、本に親しむ習慣を身に付けてもらうことにより、児童・生徒だけでなく、家族も含めた図書館利用者の増加を目指す。	評価責任者コメント	学校図書館との連携を充実し、学校図書館の活性化を図るとともに、読書習慣のある児童・生徒の増加につなげていただきたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
必要最小限の予算で、よりよい成果が得られるよう工夫する。また、賑わい交流施設の核施設である徳山駅前図書館を、指定管理制度を導入し、平成30年2月より供用開始する。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	図書館普及啓発事業	図書館の環境を整備する(ハード面・ソフト面)ことにより、図書館に対する関心を高めるとともに、利用しやすい読書環境づくりに努める。	・施設管理、予算管理 ・館内整理(展示、コラボ企画) ・各種行事運営	36,689		3.20	2.25
				否			
②	カウンター業務	利用者に対して適切・正確なサービスを提供することにより、利用者の満足度を向上させる。	・カウンター業務(貸出、返却、レファレンス業務、予約管理) ・配架、書架整理	22,363		3.35	13.00
				否			
③	図書館ブックリサイクル事業	不用図書を提供することにより、読書への関心を高めるとともに、資源の有効利用を図る。(目標値:10,000冊)	・除籍処理 ・整理、提供 (27年度実施結果:9,703冊)	1,290		0.65	0.75
				否			
④	閉架書庫の整理	限りあるスペースの中で効率的に資料を管理するために、閉架書庫を設け、適切な資料の管理を行う。	・配架、書庫整理	1,806		0.90	1.05
				否			
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134014	事務事業名	図書館資料購入事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	利用者の多様化するニーズに対して的確に応え、利用者の満足度を向上させる。
事業の内容 (手段)	利用者の多様化するニーズに応えるべく、新鮮かつ広範囲にわたる資料を収集する。 歴史や文化等に関する郷土資料の収集保存や情報提供に努める。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	資料購入点数	5館全体の図書、AV、逐次刊 行物等の購入点数		点	目標値	19,000	19,000
実績値					23,222	19,859	
達成度(%)					122.2%	104.5%	

事業 費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	34,018	34,518	35,313	34,313
うち一財		千円	33,452	33,452	34,237	34,247	35,248
(決算額)	直接事業費	千円	33,842	34,425		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	33,250	33,359			
	正職員人件費	千円	9,983	8,516			
	人工数	人	1.35	1.15	1.65		
	支出コスト	千円	決) 43,825	決) 42,941			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	図書以外の資料(AV、電子書籍)の刊行、要望の増加	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 資料について熟知した司書(的確にサービスを提供できるスペシャリスト)の育成が不可欠である。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	利用者の多様化するニーズに的確に対応するために、新鮮かつ広範囲にわたる資料を収集し、歴史や文化等に関する郷土資料の収集保存や情報提供及び人材育成に努める。	評価責任者コメント	図書館にとって重要な事業であるので、郷土資料や多様な図書資料等の収集・保存・提供に引き続き取り組まれない。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
限りある予算の中で、多くの利用者のニーズに答えるべく資料の充実を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	図書館資料(一般・児童)の選択・収集	新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、一般向け・児童向けのコーナーの充実を図る。	・資料の選択、受入 ・資料に関する情報収集	28,094	否	0.55	2.00
②	郷土資料の選択・収集	歴史や文化等に関する郷土資料を収集し、高度なレファレンスにも対応できるようにする。	・資料の選択、受入 ・資料に関する情報収集(郷土史関係の情報)	82	否	0.25	0.55
③	資料の発注・受入・整理	収集した資料を、正確に管理できるようにするとともに、利用しやすくする。	・資料の発注、受入、整備	6,249	否	0.35	1.50
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134026	事務事業名	移動図書館運営事業		
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	小野 卓令

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的(意図)	図書館サービスの地域間格差の是正・均等化を図る。
事業の内容(手段)	移動図書館車による地域への巡回 学校(小規模校)への乗り入れ やまびこ号 平成22年7月更新 やまびこ号ジュニア 平成7年5月導入		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	館外貸出利用者延べ数(移動図書館個人)	やまびこ号、やまびこ号ジュニア、なかよし号(26年6月まで)巡回における個人の館外貸出利用者延べ数	人	目標値	4,800	4,800	4,900
			実績値	4,892	4,852		
			達成度(%)	101.9%	101.1%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	3,933	5,708	5,840	4,140
うち一財		千円	3,933	5,708	5,840	4,140	4,140
(決算額)	直接事業費	千円	3,782	5,461		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	3,782	5,461		やまびこ号嘱託職員報酬3名分のうち1名分を図書館管理運営費に振替	
	正職員人件費	千円	11,832	4,073			
	人工数	人	1.60	0.55	0.85		
	支出コスト	千円	決) 15,614	決) 9,534			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年6月新南陽地区巡回車両なかよし号を廃止したため、やまびこ号が平成27年7月から新南陽地区を巡回する1台体制となりステーション数が減少。周辺地区の人口減少、高齢化により、利用者自体減少傾向にある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 利用者の減少
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	各ステーションの状況を分析し、巡回コースを検討する必要がある。
	事務事業の方向性	図書館から遠隔地に住む市民を対象にサービスを進める。特に、お年寄り、児童など交通弱者に対するサービスの充実に努める。	評価責任者コメント	移動図書館のサービスを本当に必要としている人にサービスが提供できるよう継続的に取り組まれない。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
地域の実情や要望と、効果的効率的な運行とのバランスを考えながら事業を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	移動図書館車の整備	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・移動図書館車の安全運行に係る管理、整備	876 否		0.00	0.20
②	移動図書館資料の選択	移動図書館車利用者に対して、新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、利用者の満足度を高める。	・資料の選択、受入 ・利用者ニーズの把握	447 否		0.10	0.15
③	移動図書館車「やまびこ号」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・徳山、新南陽、熊毛地区の巡回 ・小規模校への乗り入れ	3,590 否		0.30	1.20
④	移動図書館車「やまびこ号ジュニア」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・大津島地区の巡回 ・小規模な配本	548 否		0.15	0.15
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134029	事務事業名	図書館システム管理運営事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	小野 卓令	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	資料・利用者の迅速・正確な管理、サービスの向上を図る。
事業の内容 (手段)	図書館システムの活用により、市立図書館全館の資料管理、利用者管理、資料貸出・返却事務等を迅速かつ正確に処理し、さらにインターネットの活用により利用者への情報提供や、資料検索・予約等が館内外を問わず24時間可能となる。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
予約・リクエスト資料数		利用者からの予約・リクエストを受け付けた資料数	件		100,000	100,000	105,000
					96,203	104,097	
					96.2%	104.1%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	12,850	13,208	13,117	16,925
うち一財		千円	12,850	13,208	13,117	16,925	35,942
(決算額)	直接事業費	千円	12,849	13,153		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	12,849	13,153		平成30年2月の徳山駅前図書館供用開始予定に伴うハードウェアの追加及びソフトウェアの改修・構築による増額	徳山駅前図書館開館に伴う、保守料、システム使用料の増額
	正職員人件費	千円	6,286	5,924			
	人工数	人	0.85	0.80	0.75		
	支出コスト	千円	決) 19,135	決) 19,077			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	システムの活用は、図書館運営に欠くことができないものとなっている。また、さらなる業務の効率化、利用者の利便性向上が期待できるICシステムの普及も進み始めた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 利用者の利便性向上については大いに資しているが、その対応のため、本来であれば省力化が期待できるところであるが、かえって事務量が増大してしまう側面がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	利用者から要望のあるWi-Fi環境整備などの検討も必要である。
	事務事業の方向性	インターネットからの予約も年々増加しており、利用者の利便性が向上している。ICタグの導入については、費用対効果の面から現時点では見送ることとし、現行システムをH32.1まで活用することとしている。	評価責任者コメント	刻々と進化するICT分野の情報収集に努め、利用者のニーズに応えるように努められたい。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
徳山駅前図書館を含む市内6館の図書館で共通のシステムを運用しつつ、徳山駅前図書館ではICタグシステムを導入するとともに、Wi-Fi環境の整備を行うなどして、利用者サービスの向上を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	システム管理全般	資料および利用者の迅速かつ正確な管理を行う。	・システムの正常な運用 ・ホームページ管理 ・追加システム(民間活力導入図書館)についての検討	13,153 否	0.80	1.20	
②							
③							
④							
⑤							